

7. 外出先で地震に遭遇したときの注意

家にいるときに、たとえば、奈良盆地東縁断層のような地震に遭遇するとは限りません。外出中に地震の激しい揺れに襲われた時の注意事項を知っておきましょう。

新しいビルのそばを歩いていた時であれば、そのビルに飛び込むのもよいでしょう。

新しいエレベータは自動的に最寄りの階に停止します。もし閉じ込められた場合、救出までに時間がかかります。

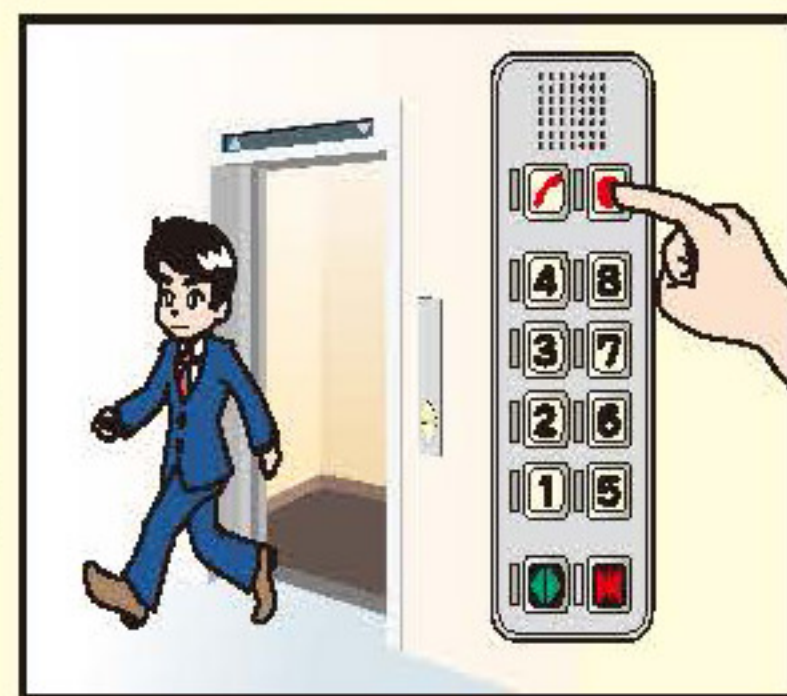
路上にいた場合

窓ガラスや看板などが落ちてくることがあります。ビルなどの建物から離れ、カバンなどで頭を守り、近くの公園や空き地に避難しましょう。



エレベーターに乗っていた場合

ただちに各階のボタンを全て押し、停止した階で降りる。停電などで閉じ込められた場合は、非常ボタンを押し続け非常電話で救助を求める。



車を運転中の場合

車を道路の左側に駐車し、エンジンを切る。急ブレーキは絶対にさける。冷静に周囲の状況を観察し、カーラジオで正確な情報を収集する。避難する場合にはキーは付けたままにし、ドアロックもしない。車検証や貴重品は忘れずに持ち出す。



地下街にいた場合

地下街は比較的安全な場所。慌てないで係員の誘導に従う。指示がなければ壁伝いに歩いて、最も近い出口から地上に出る。



地震の揺れが収まったら、できれば道路に駐車せずに、空いているガレージか空き地に駐車させていただき、事情を書いたメモと連絡先をフロントガラスの中に貼っておきましょう。車のキーはつけたままです。非常時にはいたずらは少ないです。

地震が起こった瞬間に、停電で真っ暗になるかも知れません。しかし、少し時間がたてば非常灯が点灯するようになっています。あわてずに地上に出ましょう。地下は火災やガス爆発、浸水にはとても弱いからです。